

下水道河川・水道・交通委員会記録
【速報版】

令和8年4月23日開会

速報版

- ・この会議録は録音を文字起こしした初稿のため、誤字脱字がある場合があります。
- ・正式な会議録が作成されるまでの暫定的なもののため、今後修正されることがあります。
- ・正式な会議録が掲載された時点で速報版は削除されます。

横浜市会

開会時刻 午前10時00分

◎ 開会宣告

- 長谷川琢磨委員長 委員会を開会いたします。

◎ 局長挨拶及び異動職員紹介（部長職以上）

- 長谷川琢磨委員長 水道局関係に入ります。

議題に入ります前に、4月1日付で職員の異動がありましたので、鈴木局長より御挨拶がございます。

- 鈴木水道局長（水道事業管理者） 4月1日付で水道事業管理者、水道局長を拝命いたしました鈴木貴晶でございます。どうぞよろしく願いいたします。

水道局では、4月1日付の幹部職員の人事異動では、私以外の理事、部長級職員の異動はございませんでした。引き続き、局一丸となって、「暮らしとまちの未来を支える横浜の水」の実現に向けて、各種施策に取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。

◎ 附属機関の開催状況について

- 長谷川琢磨委員長 それでは、議題に入ります。

なお、当局からの発言に際しては、着座のままで結構です。

報告事項に入ります。

附属機関の開催状況についてを議題に供します。

当局の報告を求めます。

- 鈴木水道局長（水道事業管理者） よろしく願いいたします。

それでは、水道局における附属機関の開催状況について、資料1を使って報告をいたします。

附属機関の開催状況についてと表題のあるページの次のページを御覧いただきたいと思います。

附属機関の開催状況報告書になります。令和7年4月25日から令和8年4月22日までの期間における開催状況について説明をいたします。

1、附属機関、開催実績ありといたしまして、表のナンバー1のところですが、横浜市水道局衛生管理審査委員会、職員の休職、休職期間の更新、復職等について調査・審議を行う機関でございます。

右隣の会議開催日ですけれども、令和7年5月13日から一番下の令和8年4月14日にかけて、月1回の開催で合計12回開催いたしました。その下の欄のところですが、職員の休職、休職期間更新、復職等についての調査・審議66件を行いました。

附属機関の開催状況につきましては以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

- 長谷川琢磨委員長 ありがとうございます。

報告が終わりましたので、質疑等に入ります。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- 長谷川琢磨委員長 特に御発言もないようですので、本件についてはこの程度にとどめます。

◎ 局長挨拶

○ **長谷川琢磨委員長** 以上で水道局関係の議題は終了いたしました。本日が本構成による最終の委員会になろうかと思われまますので、この際、鈴木局長より御挨拶がございます。

○ **鈴木水道局長（水道事業管理者）** 水道局を代表いたしまして、一言御挨拶を申し上げます。

長谷川委員長、青木副委員長、二井副委員長をはじめ、委員の皆様方におかれましては、この1年間、水道局が所管する事務事業につきまして御審査を賜りますとともに、多くの御指導、御助言をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

水道局では、横浜水道中期経営計画に基づき、老朽化施設の計画的な更新、将来を見据えた経営基盤の強化など、持続可能な水道事業の実現に向けた取組を進めてまいりました。

本年1月には、漏水リスクが高い铸铁管について、スピード感を持って対応するための更新計画、対応策を取りまとめました。市民の皆様へ安心・安全への実感をさらに高めていただけるよう、着実に実行してまいります。

また、少雨の影響により、水道水源のダム貯水量が平年よりも著しく低下する状況が生じましたけれども、ダム管理者である県や水源をともしする水道事業者等と連携して、市民給水への影響を最小限に抑える対応を講じてきているところです。現在は安定的に給水を継続しておりますが、引き続き貯水状況を注視し、状況に応じて迅速に対応してまいります。

水道事業を取り巻く環境は、水道料金の減少や老朽化施設への対応、激甚化する自然災害への備えに加えて、物価高騰や担い手不足などによりまして厳しさを増してきております。こうした中にありましても、将来にわたって安全で良質な水を安定して供給し続けるため、技術継承や業務の見直し、デジタル技術の活用など、一層の経営努力を重ね、事業を推進してまいります。

委員の皆様方からいただきました貴重な御意見をしっかりと受け止め、今後も職員一同、全力を尽くしていく所存でございます。引き続き、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。お礼の御挨拶といたします。1年間、誠にありがとうございました。

○ **長谷川琢磨委員長** 鈴木局長、ありがとうございました。

以上で水道局関係の議題は終了いたしました。

次に、交通局関係に入ります。

当局参集の間、休憩といたします。

休憩時刻 午前10時04分

(当 局 交 代)

再開時刻 午前10時06分

○ **長谷川琢磨委員長** それでは、委員会を再開いたします。

◎ 異動職員紹介（部長職以上）

○ **長谷川琢磨委員長** 交通局関係に入ります。

議題に入ります前に、4月1日付で職員の異動がありましたので、三村局長より異動職員の紹介がございます。

○ **三村交通局長（交通事業管理者）** それでは、4月1日付で人事異動がございましたので、交通局の部長

職以上の異動職員を紹介いたします。

(職員紹介)

◇

◎ 附属機関の開催状況について

- 長谷川琢磨委員長 それでは、議題に入ります。
なお、当局からの発言に際しては、着座のままで結構です。
報告事項に入ります。
初めに、附属機関の開催状況についてを議題に供します。
当局の報告を求めます。
- 三村交通局長（交通事業管理者） それでは、交通局における附属機関の開催状況について御報告いたします。
資料の2ページを御覧願います。
昨年の4月25日から本年4月22日までの期間における開催状況について順次御説明いたします。
当局所管の附属機関は2つございます。まず、1つ目の横浜市交通局衛生管理審査委員会ですが、これは職員の仕事や復職等について調査・審議を行う機関でございます。昨年5月16日から本年4月17日までに月に1回、合計12回開催し、仕事や復職等に関する案件113件について審議を行いました。
3ページを御覧願います。
2つ目の横浜市営交通経営審議会ですが、これは交通事業の経営に関し必要な事項について調査・審議を行う機関でございます。期間中に2回開催をし、市営交通中期経営計画の中間振り返り及び収支見通しの見直しについて報告した上で、意見聴取を行いました。
以上が交通局の附属機関の開催状況となります。どうぞよろしくお願いいたします。
- 長谷川琢磨委員長 ありがとうございます。
報告が終わりましたので、質疑等に入ります。
(「なし」と呼ぶ者あり)
- 長谷川琢磨委員長 特に御発言もないようですので、本件についてはこの程度にとどめます。

◇

◎ 寄附受納について

- 長谷川琢磨委員長 次に、寄附受納についてを議題に供します。
当局の報告を求めます。
- 三村交通局長（交通事業管理者） それでは、寄附受納について御報告いたします。
2ページのほうを御覧願います。
市営交通の施設整備等に関する寄附といたしまして、松浦企業株式会社代表取締役、松浦泰隆様より、令和7年8月25日、金員100万円の御寄附をいただきました。寄附者の御希望により、御寄附はバス停留所のベンチ設置工事に充てました。
寄附受納についての御報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。
- 長谷川琢磨委員長 報告が終わりましたので、質疑等に入ります。
(「なし」と呼ぶ者あり)

- 長谷川琢磨委員長 特に御発言もないようですので、本件についてはこの程度にとどめます。



◎ 局長挨拶

- 長谷川琢磨委員長 以上で交通局関係の議題は終了いたしました。先ほど申し上げましたように、本日が本構成による最終の委員会になるかと思われまますので、この際、三村局長より御挨拶がございます。

- 三村交通局長（交通事業管理者） 当局、交通局を代表いたしまして、一言お礼の御挨拶を申し上げます。
長谷川委員長、青木副委員長、二井副委員長をはじめ、委員の皆様方には、交通局の事務事業に関しまして熱心な御審査を賜り、厚く御礼を申し上げます。

令和7年度、まず地下鉄事業では、朝ラッシュ時間帯の混雑を緩和するため、ブルーラインで増便を行うとともに、グリーンラインでは6両編成の列車を混雑時間帯に集中的に投入するなど、ダイヤ改正を実施いたしました。

また、クレジットカードのタッチ決済対応の改札機やベビーケアスペース、SDGsロッカーの増設によって、安全で快適な移動空間の提供を図りました。

バス事業においては、前年度に引き続き人材確保の取組を進め、乗務員の充足率が改善した結果、大幅な減便を回避することができました。

一方で、人件費の増加や物価、労務単価、金利の上昇などによって、経営環境は極めて厳しい状況にございます。今後もこうしたコストの上昇が見込まれる中、市営バスネットワークを維持していくため、運賃改定を実施するための準備を引き続き進めてまいります。こうした取組を進めることができたのも、ひとえに委員の皆様のお指導、御助言のたまものでございます。心より感謝申し上げます。

現在の中期経営計画は、今年度で最終年度となりますが、引き続き、安全・安心な移動手段の提供とともに、経営基盤の安定化とサービスの向上のための努力を重ねてまいります。

また、市会や市民の皆様、お客様に信頼される市営交通となるよう、全職員一丸となって、たゆまぬ努力を続けてまいります。今後とも御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。お礼の御挨拶といたします。1年間、本当にありがとうございました。

- 長谷川琢磨委員長 三村局長、ありがとうございました。



◎ 当局代表挨拶

- 長谷川琢磨委員長 次に、当局を代表いたしまして、松浦副市長より御挨拶がございます。

- 松浦副市長 当局を代表いたしまして、一言御挨拶を申し上げます。

長谷川委員長、青木副委員長、二井副委員長をはじめ、委員の皆様方におかれましては、この1年間、水道局、交通局の各事業につきまして御議論いただきまして、誠にありがとうございました。

水道局につきましては、市民生活や経済活動に欠かせない重要なインフラとして、引き続き安全で良質な水を市民の皆様へ安定的にお届けできますよう、引き続き、将来にわたり事業を継続していくための様々な施策にしっかりと取り組んでまいります。

また、交通局につきましては、経営基盤の強化により経営を持続可能なものとし、引き続き、安全、確実、快適な交通サービスを提供することで、市全体で取り組む市民の移動手段の確保に対応してまいります。

水道、交通の両局ともに、今後も厳しい経営環境が見込まれる中で、不断の企業努力とサービスの向上を

通じて、市民の皆様の信頼にお応えできるよう全力を尽くしてまいります。

委員の皆様方におかれましては、引き続き御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、私からの御礼の御挨拶といたします。誠にありがとうございました。

- 長谷川琢磨委員長 松浦副市長、ありがとうございました。

以上で交通局関係の議題は終了いたしました。

次に、下水道河川局関係に入ります。

当局参集の間、休憩といたします。ありがとうございました。

休憩時刻 午前10時14分

(当 局 交 代)

再開時刻 午前10時15分

- 長谷川琢磨委員長 委員会を再開いたします。

◎ 異動職員紹介（部長職以上）

- 長谷川琢磨委員長 下水道河川局関係に入ります。

議題に入ります前に、4月1日付で職員の異動がありましたので、遠藤局長より異動職員の御紹介がございます。

- 遠藤下水道河川局長（技監兼務） 下水道河川局でございます。どうぞよろしく願い申し上げます。

それでは、4月1日付で異動のありました下水道河川局の部長級以上の職員について紹介いたします。

(職 員 紹 介)

- 長谷川琢磨委員長 ありがとうございます。

◎ 附属機関の開催状況について

- 長谷川琢磨委員長 それでは、議題に入ります。

なお、当局からの発言に際しては、着座のままで結構です。

報告事項に入ります。

附属機関の開催状況についてを議題に供します。

当局の報告を求めます。

- 遠藤下水道河川局長（技監兼務） それでは、附属機関の開催状況について御報告いたします。

当局に関わる附属機関の令和7年4月25日から令和8年4月22日までの期間内の開催状況につきまして御説明をいたします。

お手元に配付いたしております資料を御覧ください。

- 1、開催実績がある附属機関について御報告いたします。

横浜市下水道事業経営研究会でございますが、これは横浜市における下水道事業の経営に関し、必要な事項について調査研究、審議を行う機関でございます。会議といたしましては、令和7年5月8日から令和8年1月21日までの間に、計4回開催いたしました。

審議等の概要でございますが、次期下水道中期経営計画策定及び将来を見据えた下水道システムの在り方

について審議を行いました。

次に、その下、2、開催実績のない附属機関について御報告いたします。

横浜市水洗化紛争仲介委員会は、審議案件がなかったため、開催されませんでした。

以上をもちまして、下水道河川局関係の附属機関の開催状況について御報告を終わります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

- 長谷川琢磨委員長 ありがとうございます。

報告が終わりましたので、質疑等に入ります。

(「なし」と呼ぶ者あり)

- 長谷川琢磨委員長 特に御発言もないようですので、本件についてはこの程度にとどめます。



◎ 局長挨拶

- 長谷川琢磨委員長 以上で下水道河川局関係の議題は終了いたしました。先ほど申し上げましたように、本日が本構成による最終の委員会になるかと思われますので、この際、遠藤局長より御挨拶がございます。

- 遠藤下水道河川局長(技監兼務) 下水道河川局を代表いたしまして、お礼の御挨拶を申し上げます。

長谷川委員長、青木副委員長、二井副委員長をはじめ、下水道河川・水道・交通委員会の皆様方におかれましては、当局所管の事務事業につきまして御審査いただきますとともに、御指導、御助言を賜り、誠にありがとうございました。

令和7年度は、(仮称)横浜市下水道中期経営計画2026(素案)や、横浜市河川水辺環境の保全・創出に関する指針の策定などにつきまして、数多くの御指導、御助言を賜りまして、感謝を申し上げます。

令和8年度は、皆様方からいただきました貴重な御意見を踏まえまして、将来を見据えた経営の視点を取り入れながら、下水道河川の取組を着実に推進してまいります。今後とも市民の安全・安心な暮らしを支え、良好な水環境を創出する強靱で持続可能な横浜の下水道河川の取組を職員一同、全力を尽くしてまいりますので、より一層の御指導を賜りますようお願い申し上げます。

簡単ではございますが、お礼の御挨拶いたします。1年間、ありがとうございました。

- 長谷川琢磨委員長 局長、ありがとうございました。



◎ 当局代表挨拶

- 長谷川琢磨委員長 次に、当局を代表いたしまして、平原副市長より御挨拶がございます。

- 平原副市長 当局を代表いたしまして、一言お礼の御挨拶を申し上げます。

長谷川委員長、青木副委員長、二井副委員長をはじめ、委員の皆様には、この1年間、下水道河川局の事業につきまして御熱心な御審査をいただくとともに、貴重な御示唆をいただき、誠にありがとうございました。

令和7年度は、激甚化、頻発化する豪雨災害に備えまして、新たにデータを活用した事前防災の観点を取り入れ、下水道と河川が一体となった流域治水を推進するとともに、人口減少社会でも安定的にインフラを維持していくために、下水道のアセットマネジメントを推進する施策について着実に進めてまいりました。

引き続き、身近な基礎自治体として市民の皆様へ寄り添い、一つ一つの施策を着実に進め、成果を生み出してまいります。今後とも、御指導、御鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

以上、簡単ではございますが、お礼の御挨拶といたします。1年間、本当にありがとうございました。

- 長谷川琢磨委員長 平原副市長、ありがとうございました。



◎ 正副委員長代表挨拶

- 長谷川琢磨委員長 それでは、正副委員長を代表しまして、私から一言御挨拶を申し上げます。

この1年、委員の皆様方には、市民生活に直結する各種議案につきまして熱心に御審査をいただき、誠にありがとうございました。

令和7年度の活動を振り返りますと、横浜市下水道事業中期経営計画2026策定に向けた検討、水道局の効率的な執行体制の構築に向けた取組、市営バスの経営改善に向けた対応など、いずれも本市の将来にとって非常に重要な施策について、委員会として活発な議論を重ねることができました。

また、昨年10月には、上下水道の官民連携に関する参考人として、東京大学大学院特任准教授の加藤裕之氏、横浜ウォーター株式会社代表取締役の本間徳也氏にお越しいただいて意見聴取を行うなど、精力的に活動し、委員の皆様からも多くの貴重な御意見をいただくことができました。

このように充実した委員会活動ができましたのも、青木、二井両副委員長をはじめ、委員の皆様方の御支援、御協力があったからこそと改めて感謝を申し上げる次第でございます。

また、平原、松浦両副市長をはじめ、当局の皆様方にも非常に委員会運営に御協力をいただき、改めて厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

最後になりますが、日々御検討いただいている当局の職員の皆様にも心より厚く御礼を申し上げて、正副委員長を代表しての挨拶といたします。1年間、誠にありがとうございました。



◎ 閉会宣告

- 長谷川琢磨委員長 以上で本日の議題は全て終了いたしましたので、委員会を閉会いたします。
ありがとうございました。

閉会時刻 午前10時22分